

て
ん

轉

ぎ
よ
う

教

12
2020
Dec

信のとびら

「2020年を振り返る」

12月のご奉公のすすめ

12月のお寺の行事予定

10月のご奉公日誌

日晨上人祥月法要ご訓辞より

「一番嬉しかったこと」～私の体験

今年度のご奉公テーマ「お教化のすすめ」

「来年の甲の御講の席主へ」佐藤応昇

日晨上人から学ぶ 糠谷信章

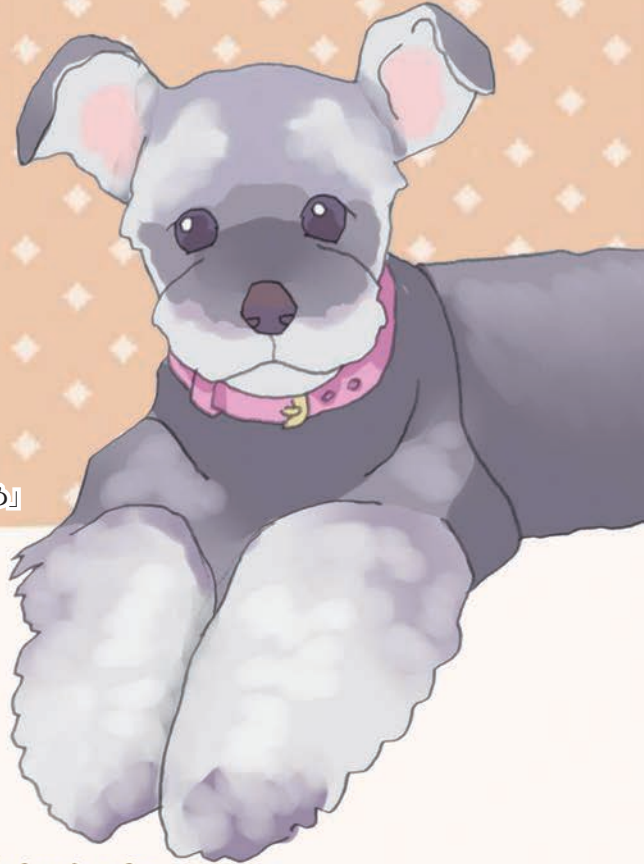
私のよろこび

「お回向のおかげ」

「六角堂へ御参詣」

こどもたちの会

お講参詣は菩薩行



佛立本旨講妙應寺

モデル:ナナちゃん(渋谷港教区)

二〇二〇年を振り返る

二〇二〇年一月、いつもと変わらぬ新年が開けました。

知らされた一年だったように思います。

展途上ですが、引きつづき頑張っていく予定です。

東京オリンピックの開催が予定され、日本にとって歴史的な年になるはずでした。ところが、新型コロナウイルスによつて延期という、歴史上初めての出来事が起こったのです。昨年末には、こんなことになるかと誰が予測したでしょう。「一寸先は闇」と言うように、一分一秒先に何が起こるか分かったものではありません。そのことを世界中が思

二〇二一年がどのような年になるのか分かりませんが、

信者の中にも携帯電話をスマートフォンに変える方が

こういふ状態です。妙應寺としては出来ることから始めようとYouTubeチャンネルを開設しました。信者は勿論のこと、次の世代また世間の方々に佛立本旨講を知ってもらうことを目的として、お導師主導のもとに企画を練り、動画を作成しています。まだまだ、登録者も二百人程と登

徐々に増え、90歳を超えた方も登録してくれています。馴染のない新しい試みに困惑や不快感を感じている方があ

るとも聞いています。しかし、50代位までの人々が当たり前のように利用し観ているものです。お子さんやお孫さんに使い方をきき、家族間の話題として使い、楽しんで欲しい

と思います。

こここのところの技術の進歩にはなかなか付いていくことは難しいかもしれません。そのため馴染みにくいものかもしれないませんが、ご弘通のため活用していきたいと思えます。開導聖人の御教えにも、

へ仏法は人を助くる法なれど時機に応じて法かはるなり

(扇全十四卷四百三十二ページ)

とお示しです。時宜じぎになつたご弘通をしましょう、と説かれています。今後、新しい試みに協力を仰ぐこともあ

るでしょう。お寺の発展のためと受け取り、ご理解いただきたいと思えます。

今こそ、「どんな問題も御宝前にご祈願をかけて乗り越えます」のお講席唱和を実践するときです。七五三お礼言上や蓮華会御講も中止を余儀なくされましたが、家族に御宝前への敬いを伝える好機ととらえ、家族そろってお寺参詣出来る日を話し合い楽しみにしてください。

お寺では、新型コロナウイルス感染症が落ち着き一日も早く通常のご奉公に戻れることを願って、「妙應寺所属教講、災難除滅、病即消滅」の祈願を皆で立てています。

12月は、新年に向けた準備にも忙しくなりますが、教区内信徒のご本尊お塵払いやお綿掛けも、手落ちのないよう受け持ち御講師とよく連携を取りご奉公成就を目指してください。



12月のご奉公のすすめ

今年度のご奉公テーマ「教化」

お題目口唱の喜びを他に伝える教化のご奉公こそ先祖のご本意にも叶う最もお喜び頂けるご奉公です。そして、御題目口唱の心得を家での生活習慣に組み

入れ、身に付けるよう育成します。また、子供が独立したらすすんで御本尊をお迎えさせて頂きましょう。

二、元旦会

1月1日(金)6時半～8時、本堂にて奉修されます。六角堂での初御看経は、コロナ禍を考慮して代表参詣とさせて頂きます。

今月の「随喜轉教」

「家族と共に幸せな人生を送りたいと願うなら、先祖回向を家の習慣に取り入れるとよいでしょう」と教えて頂いています。「ご回向のすすめ」や「ご回向

は幸せのブーメラン」のパンフレットを活用し回向の大切さを伝えると、それが御弘通の種まきになります。

三、初総講

1月3日(日)10時半より本堂にて奉修されますが、三密を回避するために、極力分散御参詣、ネット参詣にご協力ください。令和3年の受け持ちお講師の紹介のみとして、祝杯式と教講初顔合せは中止といたします。

来月の「ご奉公のポイント」

一、寒参詣開始

寒参詣は、1月6日(水)から2月5日(金)まで。勤行は平常通り朝7時から8時半です。御法門

は7時45分、日曜日には御利益

談の発表があります。班内、家族の参詣将引に励んでください。

四、開講記念総講

1月10日(日)10時半より高祖大士御命日総講に併せて奉修されます。開講記念総講は、安政4

12月の寺内予定

日 程	行 事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	火 開講本旨再興祈願総講 	10時半
5日	土 運営会議	9時半
	門祖会奉修本部会議	10時半
6日	日 口唱会（担当；第三地区、総務部）	中止
	蓮華会・くんげ会合同御講	中止
	男性信徒御講申込締切	
12日	土 連合幹事会	中止
	後続者育成連絡会	中止
13日	日 高祖大士御命日総講	10時半
17日	木 開導聖人御命日総講	10時半
19日	土 寒参詣御供養御奉公者締切（御供養は夏期参詣と同様にご用意致します）	
20日	日 男性信徒御講	中止
25日	金 門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会	中止
	御炭代・お鏡餅料奉納締切	
	教講ご奉公納め	
25～31日	年末御礼朝参詣週間	
31日	木 年末御礼御看経（元旦会・初御看経・初総講準備）	14時

年1月12日に佛立講が開講された記念のお総講です。併せて授級褒賞「彰功の記」授与式が行われます。

五、開導嗣法第四世日教上人御祥月法要

1月17日（日）10時半より開導聖人御命日総講に併せて奉修されます。関東のご弘通の基を築いて下さった日教上人への報恩の思いを新たにしましょう。

六、成人式

1月24日（日）11時より奉修致します。該当の方に無事成人のお礼言上をお勧めさせて頂きましょう。なお、例年執り行っている祝賀会は中止といたします。

ご本尊を新たに拝受された次世代と共に

令和2年10月18日

高祖会にて

御導師よりいただいたご挨拶

今日をご覧のように朝の勤行の

中で高祖会の言上をさせていただきました。これはコロナ禍の対策をやむを得ないこととしてご理解をください。一方、お参詣の様子は映像に撮って遠方の方にもご覧いただけるようにしていただいております。こういうコロナ



災禍の中ですが、様々な

前進をしてお奉公させていただいております。コロナ災禍はまだ続くかも知れませんが、皆様のご理解とご協力お願いしたいと存じます。

また御祖師様のお会式というのは日蓮聖人の御奉公に対する報恩の思いでさせていただく法要です。今日は次世代を担う方が御本尊を戴くという、非常にありがたい場面がありました。皆さんも是非このような様子を拝見して、ご自身も励みにして、次の世代への信心の伝承を心がけていただければ、ありがたいと存じます。

御本尊拝受のよろこび



練馬教区 Uさん

この度一人暮らしをするにあたり、家は住む人を表すのだと考え、私自身を形作るものにして欲しいと決めました。

私の中で核となるのは、このご信心です。ご本尊という目に見える形で、あわよくばこんなに美しい仏壇ならば自分も欲しい、と思ってくれないだろうか、というささやかな期待を込めて台やお道具を探しました。シンプルで、モダンで、お給仕はさせて頂きやすいと思えるものならば、これから御本尊をお迎えする人も抵抗なく感じてもらえるのではないか、と。

これから、楽しいことばかりではないと思いますが、苦しい時に御法縁が助けてくださる、とすがれる場所はあることを支えに、生きていきたいと思えます。(全文14ページ掲載)

令和2年10月行事報告

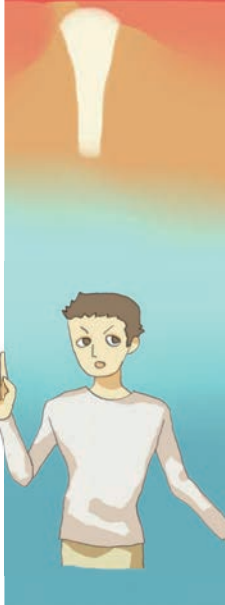
日 程	行事
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間
1日 木	開講本旨再興祈願総講を10時半より奉修いたしました 
3日 土	運営会議を9時半より開催しました
4日 日	口唱会は中止としました 若い人の口唱会も中止としました 高祖会奉修費、御花料、御供米料奉納申込締切
10日 土	連合幹事会は中止としました 後続者育成連絡会は中止としました
11日 日	高祖会無事奉修祈願朝参詣週間（～17日） 高祖会本堂大掃除は中止にしました。
17日 土	開導聖人御命日総講を10時半より奉修しました。 高祖会全体会議・準備ご奉公は中止にしました。
18日 日	高祖会 朝の勤行に併修して奉修しました 
25日 日	門祖聖人御命日総講を10時半より奉修しました 正副教区長会は中止としました 令和2年前期納金表提出締切ました
31日 土	赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました

高祖会厳修 点描 (YouTube 配信あり)



- ① 本堂で三密回避対策をして御看経 ② 御導師ご法門 ③ 献花
④ 練馬教区 Uさんにご本尊が授与されました。(右ページ)

いままで一番嬉しかったこと



◇娘夫婦と同居◇

渋谷港教区

Nさん

娘夫婦と同居することになり、

本当に嬉しく有難いことと、喜びいっぱいです。この十数年間は一人ぼっちの寂しい生活で、而も高齢の為何かあったらどうしたら良いのか分からないので、家族が3人に増えるのは私にとっては安心できる毎日になります。

これからは一緒にお看経が出来るように、又、御宝前のお給仕なども少しづつ覚えてくれるよう御宝前をお願いしながら、信行相続

にも気持をこめて勤めてゆきたいと願っています。また、生涯現役で身体が続く限りお講やお寺参詣に気張らせて頂きます。

◇三回忌を家族揃って無事奉修◇

かながわ北教区

Sさん

10月11日に夫の三回忌を奉修させていただきました。前日までは台風で雨がひどくて心配でお看経におすがりしていました。11日の朝は雨も弱くてほっとしました。子供達も早くから来てくれて、孫たちもお寺に集まってくれました。

本当に嬉しかったです。お寺では連合の方多摩連合の方と大勢でお焼香をして頂き本当に嬉しく、亡くなった夫も喜んでいると思います。

◇先ずは伝えること◇

目黒玉川教区

Tさん

先日、娘の婿さんたちにお寺参詣を奨めたところ、すんなりと来てくれました。まだ、上手く伝えられている訳ではありませんが、少しでも話をしてみようと思います。

「以信得入」を

体験しました

◆和田源兵衛と同じ◆

大阪教区

加川式一

以信得入「妙とは蘇生の義也」の84ページの和田源兵衛さんと同じご利益を頂きました。

10月6日、台風が来る前にといい、エンジン付きの草刈機にて畑の草刈りをしています。時間がないのでスピードを上げて作業していましたが、回転する刃が地面



比較的新しい丈夫な靴下ですが、草刈機の金属の刃で穴が開いています。

に当たり、勢いよく金属の鋭い刃が私の右足先に当たりました。足先にガツンと当たった感覚があり、靴を見るとパツクリ切れ、靴を脱ぐと写真のように靴下が切れていました。何処の病院に行こうかと頭によぎりました。しかし、よく見ると助かったとほっとしました。その場を片付けて戻り、御宝前にお礼のお題目口唱をしました。毎朝、1ページ以信得入を読み、ご法門を読み合わせています。自分の事ですが、以信得入の中にあるご利益と同じようなお守りをいただきました。

離れの念仏宗の謗法を最近払うことが出来たことから、ご法様からお守り頂きました。なお丁寧に作業を行い安全に気を付けて、これからもご奉公に励みます。

スマホ便利アプリ

紹介コーナー

災害時に役立つアプリ

「防災アプリ」

防災関連アプリは沢山ありますが、特におすすめの2点をご紹介します。

①「防災速報」↑検索アプリ名

緊急地震速報や豪雨予報をはじめ、現在地と指定した3地点で災害が発生した場合、プッシュ通知でお知らせがあります。災害の種類は14種類で避難場所も確認できます。お寺や御参詣先など、どこにいても通知を受けられるので安心ですね。ヤフーのアプリです。

②「ライト 懐中電灯」

スマホに標準装備されていますが使うことがない方が多いです。突然真っ暗になったら素早くライトが点灯できるよう、訓練しておいてください。



ご回向のおかげ

かながわ北教区 Sさん

本日は、主人の13回忌の御回向をお導師に言上していただきました。ご回向のありがたさは5、6年前に孫の航太がいじめにあった時に、相手のご回向をさせていただいたことで、お計らいをいただきました。今でも孫共々感謝して忘れることはありません。

毎日のご回向は、主人も私も

末っ子ですので、両親はもちろんのこと兄弟もほとんどなくなりました。私は、きっとその人たちのご回向をするように、お役目を仰せつかっていると感じ心を込めて、お寺で、また、自宅の御宝前でご回向をさせて頂いています。

この歳になりますとお世話になった学校時代の先生も友人も

だんだんいなくなり、合わせてご回向を心がけています。ご回向させていたたくと不思議と自分の心が落ち着いて安心して穏やかな気持ちで毎日が送れます。ご回向をさせていただくのは人の為だけではないとつくづく感じております。私は昨年、脳出血や腰痛を患うもたいしたことなく、毎日ご奉公させていただけております。これも、ご回向によるありがたいお計らいと感謝しております。

六角堂へお参詣

杉並教区 Iさん

Kさんは呼吸器の持病があります。医師からは、コロナウイルスに感染すると即重篤化する

ので、他人との接触など十分に気をつけるように言われました。その為、外部との接触を断ち、

家族も外出先から帰宅すると全身を消毒し、菌を家中に持ち込まない様に注意していました。私も毎月、月末にお講附などの書類をお持ちし、Kさんからは、ご祈願、お花料、ご回向などを

お預かりして一目お会いするだけで、すぐに失礼するという状況でした。

今まで酸素ボンベを引きながらお寺参詣、お購参詣に励まれていらつしやいました。それが出来なくなつて残念だろうと思つていたのですが、「私は皆様のご奉公成就と色々な方の病氣全快など、家の御宝前で御祈願させて頂いています。早くコロナが収まつて、また、皆様と一緒ににご奉公をさせて頂きたいとお願ひしているのよ」とお話しください安心いたしました。

先日も嬉しいお話をお聞きました。九月二十一日に六角堂へ参詣できたということでした。前日に娘さんから、明日六角堂へお参りに行きましようと言わ

れてびつくり、殆ど外に出たことが無かつたので驚かれたそうです。当日、車でお孫さんと娘さんの三人で六角堂へ向かうと、当番のお講師がお看経をさせていただきますましようとおつしやつてくださり、戒名を言上してくださり、拍子木を打つて一緒にお看経をしてくださったそうです。Kさんはもちろん娘さんやお孫さんも大感激で良かったね、良かったね、とずっと言つて大喜びだったそうです。

Kさんは、お話しくださったりながらその感動を思い出して涙声でお話し下さいました。Kさんのご奉公成就と、娘さんやお孫さんの信行相続を願つてご祈願を続けさせていただきます。



私は不注意から大きな怪我をしましてしまいました。はやくお寺参詣させて頂きたいと気持ちにはやるばかりで、なかなか復活できずにいます。三ヶ月前のある日ご信者仲間から聞いたのですが、今年の三月以来お寺ではコロナ禍の影響で、多くの方がお寺参詣を控えていて献華をあげる人が限られてしまつてある事を聞きました。少しでも御法様のお役に立たせて頂けば有難いことと息子も私も毎月献華料奉納をさせて頂くことに決めました。

来年は甲御講の席主に

佐藤 忠昇

昨年お教化になった広島教区のMさんのお宅で、初めての御講をさせていただきました。

まずは岡山教区のMKさんのお宅で車を借りて、MJさんと共に愛媛県の伯方島^{はかたじま}を目指します。

三度目の伯方島となりますが、今まで一番良い天気にも恵まれ快適なドライブとなりました。途中のしまなみ海道から見る景色はとてすばらしかったです。

Mさん宅に着くと既にMさんと



Aさんがお迎えのお看経をされており、席主

のMMさんが拍子木のご奉公をされておりました。

御講の後、嬉しかった事、ありがたかった事を伺うと、造船の仕事をしているMMさんは、仕事上危険な事が沢山あるが、大難が小難、小難が無難のお守りを感じている、と話されておりました。



またM家では来年は甲御講を受けさせて頂きたいと希望しています。少しずつですが、確実に信心の喜びを体験され、御奉公に励



まれる姿がとても印象的でした。

また先月お教化になり、ご本尊を奉安された弟のMTさんは、朝4時半に起きてお給仕をさせて頂いております、おかげで日々の不安が無くなりました、との事。

また教区長であるAさんは広島教区の次世代育成ご奉公に励まれるとの事。

初めて森本家にお参詣されたMJさんとても喜んでおられました。



日晨上人より学ぶ

勇氣あるご教導

糠谷信章

て頂いて来たお寺。そこを簡単に見捨てたり、離れたり出来るものではありません。云々」と述べられてありました。佛立教務の道をすすむ厳しさを勉強させて頂きました。

実際に妻子の為、恋する彼女の為、菩提親や世話になった先輩に誘われる等々すすんで師を捨てた人、また悩み苦しんで師を捨てた人々を多く見聞きました。

もちろん私達家族にも誘惑のささやきは度々あり動揺させられました。一番肝心な時に勇氣あるご教導に出会えたことを今でも感謝しています。

腐つたら捨てねばならぬひとつの飯
日扇聖人御教句 202ページ

註釈「善友が悪友になり、善が悪に転じたときは、そこから離脱する勇氣が必要だ。情におぼれて苦を招くな」

と、解説下されています。

私は、この日晨上人のご教導を平成5年に見つけました。離脱は悪とさかんに宣伝していた時なので、今迄教えて頂いた御法門を護る勇氣を頂きました。

また、平成9年に乗泉寺教務の大先輩が、ご自身の建立されたお寺を離山された経緯を、私達末輩までに

も下さった文章の一部を紹介します。

「第20世講有日尚上人の講有解任問題を考えるにつけ、形を現在の反日尚上人で固まる宗門体制内にとどめている限り、佛立教務としての道を完うすることは不可能との思い切なるものがあり、ついに去る6月16日、単身自坊を離山いたしました。お寺を創立したものが、そのお寺を離れるということは滅多にあり得ないことでしょう。況して終戦直前の物資乏しい時から約半世紀に亘って、汗を流して盛り上げてきたお寺。生涯護り通そうと誓ってご奉公させ



日晨上人著
「ある角度から」第10巻

御本尊拝受のよろこび

練馬教区 Uさん

この度一人暮らしをするにあたりご本尊を拝受させていただきたくお利益をいただきました。今年に入りコロナウイルス感染拡大防止を受け在宅勤務となり、時間に余裕ができました。

偶然、母と話している中で、スーパリーの近くにできたマンション建設が進んで、内装が意外に良さそうだね、見に行こうか、という話になりました。運よく取り扱い不動産会社が見つかり、内見の予約を取り付けることができました。部屋の作り、窓からの眺めをお気に入りコロナでどこへも行けないのだから、

旅行すると思つて借りてみよう、と一人暮らしをする気持ちになりました。一人で暮らしていくことへの不安はありませんでしたが、家は住む人を表すのだと考え、私自信を形作るものたちについて欲しいと決めました。

私の中で核となるのは、このご信心です。ご本尊という目に見える形で、あわよくばこんなに美しい仏壇ならば自分も欲しい、と思つてくれないだろうか。というささやかな期待を込めて御本尊様についていただく台やお道具を探しました。シンプルで、モダンで、お給仕はさせて頂きやすいと思えるものならば、これから御本尊をお迎えする人も抵抗なく感じてもらえるんで

はないか、と。しかしながら、日晨上人御命日法要の際に「お給仕第一、信心第二、学問第三」と上人が録音の中でおっしゃっていた通りに、お給仕を学べるように、ハードルを低くするだけでなく、そこに学びがなくては、と自戒の念を込めて、下付式に臨みました。前日の寒い雨風が嘘のように晴れ渡り、奉安の際に傘をさすこともなく、ご本尊のお供をさせていただくには大変ありがたい陽気にしていただきました。

これから、楽しいことばかりでないと思いますが、苦しい時に御法様が助けてくださる、とすがれる場所はあることを支えに、生きていきたいと思えます。

★こどもたちの会★

原案：柳沢朱代
作画：冨家花代

こうさんけい ぼさつきょう 「お講参詣は菩薩行」



※ご教歌…御弘通の御奉公とて他になし 御講まありや又つとめたり

本駒込でのご奉公も6年目に

10月18日(日)高祖会が朝の勤行に併修して奉修させて頂きました。

本駒込に新本堂を授かり、早や、丸5年が経過し、皆様にご奉納頂いております、本堂護持ご有志も丸5年が経過いたしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

朝の来ない夜はありません、大変な時期が続いておりますが、ご奉公よろしくお願いたします。



事務局長 山本久男

轉教

令和2年12月1日発行 第22巻第12号 通算250号

編集兼発行人 山本久男

発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11

TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人